

結の故郷教育シンポジウム開催要領（案）

1 開催趣旨

21世紀の社会は知識基盤社会といわれ、近年は情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて加速度的に進展してきています。

このような社会を迎えているにあたり、国では、子どもたちの「生きる力」をバランスよく育てていく観点から学習指導要領の見直しが行われたところです。

大野市の教育においては、大野市教育理念のもと、古来より本市の先人が培ってきた豊かな人間性をしっかりと受け止め、優しく、賢く、たくましい大野人を育てることを基本に各施策を展開しています。

今、学校を取り巻く環境は、大きく変化しています。将来を担う子どもたち一人一人が自尊感情を高め、楽しく学校に通いながら学力等の充実を図っていけるようにするために、本市が目指す教育環境について、市全体で課題等を共有しながら考えていく必要があります。

本シンポジウムは、大野市の教育環境について多くの方々と情報を共有しながら、一緒に考えていく場として開催します。

2 実施内容

(1) 名 称 結の故郷教育シンポジウム～子どもたちのより良い教育環境を目指して～

(2) 対 象 市民

(3) 開催日 2019年5月12日（日）午後1時30分から（終了予定：午後4時20分）

(4) 場 所 文化会館大ホール

(5) 内 容

13:30 開会あいさつ：教育長（10分）

13:40～14:30 1部：基調講演（50分）

主題：(仮)「これからの学校教育のあり方について」

講師：福井大学連合教職大学院教授 松木健一 氏

14:30～14:40 休憩（10分）

14:40～16:00 2部：パネルディスカッション（80分）

主題：(仮)「子どもたちのより良い教育環境とは」

コーディネーター：福井大学連合教職大学院教授 松木健一 氏

パネリスト：大野市校長会1人、PTA連合会2人（大規模校1人、小規模校1人）、保育園保護者代表1人、教育委員会教育長1人 計5人

16:00～16:15 質疑応答

16:15 閉会あいさつ

(6) 広 報

- ・ 広報おおのや市HPへの掲載
- ・ 広報おおの5月号掲載（原稿作成3月）
- ・ 各幼・保育園、小中学校保護者・関係機関へのチラシ配布
- ・ 報道機関への周知

(7) 人員配置（兼務を含む）

司会1、受付係2、駐車場係2、湯茶係1、出演者誘導係1、ホール内マイク回し係2、舞台切替係4、アンケート回収係2、記録係2（写真、議事）

(8) その他

- ・ 来場者に対し、学校再編に係るアンケートを実施し回収。
- ・ 質疑応答は実施状況を踏まえながら2人程度の質問を受け付け、それ以外はアンケートへの記載を依頼。
- ・ 臨時託児室を設置する。（依頼先：厚生保護司会女性部会）事前申込制を前提に当日受付も可能とする。

3 予算要求額

報償費 80千円

講師及びコーディネーター（打合せ及び旅費含む）@50,000円×1人=50,000円

パネラー@5,000円×4人=20,000円

託児室謝礼@10,000円×1回=10,000円

計 80,000円

消耗品費 261千円

アンケート及びプログラム用紙代100,000円×1式

看板代（シンポジウム本会場、会場入口、設置費込）150,000円×1式

花代10,000円×1.08=10,800円

計 260,800円

食糧費 2千円

シンポジウム講師等飲み物代@150円×7人=1,050円

印刷製本費 60千円

チラシ作成費（A4/表4C・裏2C/5,000枚）55,000円×1.08=59,400円

合計 403千円

小中学校教育環境意見交換会（略称：教育環境タウンミーティング） 開催要領（案）

1 開催目的

地域の方々や関係保護者等に、学校の教育や施設の現状等を理解いただくとともに、学校再編に対する不安事項や要望、提案の聞き取りを行う対話集会を開催し、平成29年1月に策定した「大野市小中学校再編計画」の見直しの基礎資料とする。

2 内容

(1) 対象団体等

- ① 9地区（大野、下庄、小山、乾側、上庄、富田、阪谷、五箇、和泉）
- ② 小学校 10校
- ③ 中学校 4校（和泉中学校は和泉小学校と合同で行う）
- ④ 公立保育園 4園（あかね、荒島、阪谷、和泉）
- ⑤ 民間保育園 3園（いとよ、亀山、上庄）
- ⑥ 認定こども園 7園（開成、篠座、誓念寺、誓念寺中野、いなやま、いなほ、大野）
- ⑦ 小中学校教職員 合計38団体

(2) 開催場所

- ・ 9地区は各小学校の体育館等。ただし、大野地区は学びの里めいりん講堂または有終会館等、五箇地区は五箇公民館）
- ・ 保育園及びこども園は各園
- ・ 小中学校教職員は学びの里めいりん講堂または有終会館等。

(3) 実施期間 2019年5月下旬～11月下旬

(4) 開催時間帯 概ね平日午後7時から（約2時間）

(5) 流れ（各開催場所で適宜変更。「説明・報告」を省略する場合もあり。）

開会あいさつ 教育長（約10分／大野市が目指す学校教育とは）

1部：説明・報告（約20分）

主題：「大野市の教育について」（約10分×2項目）

① 大野市の学校教育の現状（教育総務課学校教育G）

② 大野市の学校施設の現状（教育総務課庶務施設G）

2部：意見交換（約90分／意見交換方法は場所により適宜変更）

主題：「小中学校の教育環境について」

進め方：

（参加者が30人程度の場合）

- ・ 車座の挙手方式で、意見をいただく。

（参加者が50人未満の場合）

- ・参加者を2つのグループに分けて、車座の挙手方式で意見をいただく。
- ・その後、全体会で各グループから出された意見を報告する。

(参加者が50人以上の場合)

- ・1部と2部の間に休憩時間(約10分)を設定し、その休憩時間に意見用紙を配布し回収。(意見交換中でも意見用紙提出を可能とする)
- ・始めは、挙手方式で意見をいただき、その後、回収した意見用紙を報告。

(6) 案内送付先

- ・各地区は、公民館長を通じて各地区に案内を送付。
- ・小中学校は、各PTA会長に対し案内を送付。
- ・保育園・こども園は、各保護者会会長に対し案内を送付。
- ・小中学校教職員は、校長会等を通じて各学校長に案内を送付。

(7) 広報

- ・広報おおのや市HPに実施結果等を掲載する。
- ・各地区の開催日は広報おおのに掲載し、他の対象団体の開催日は掲載しない。

(8) 出席者(予定)

教育長、事務局長、教育総務課長、学校教育審議監、教育総務課職員

(9) 人員配置計画

司会1、受付・資料配付係2、会場設営係3、記録係1、メモ用紙回収・仕分け係3、マイク回し係2

(10) その他

- ・対話集会は、各対象団体の構成員だけを限定として開催する。
- ・各対話集会の終了時刻は定めないこととするが、意見交換の時間を概ね90分と定める。
- ・各対話集会終了後、復命書の作成は記録係が担当する。
- ・TM開催中又は終了後、各地区の任意団体(老人会やまちづくり団体等)等から開催要請があれば適宜対応する。

3 予算要求額

消耗品費 818千円

コピー用紙 @380円×200冊×1.08=82,080円

モノクロコピー代 @4.5円×80,000枚=360,000円

カラーコピー代 @18.8円×20,000枚=376,000円

計 818,080円

合計 818千円

将来の教育環境に関するアンケート実施要領（案）

1 実施目的

市民及び関係者に対し、将来の子どもたちの教育環境に関するアンケートを行い、平成29年1月に策定した学校再編計画の見直しの基礎資料とする。

2 実施内容

(1) 対象者

①平成31年度現在の市内の小学6年生（279人）

②平成31年度現在の市内の中学2年生（276人）

(2) 送付及び回収方法

各小中学校に、各児童生徒へのアンケート配布及び回収を依頼する。

3 アンケート質問項目

- ・小中学校の教育環境について
- ・小中学校の通学について
- ・将来の小中学校の在り方について
- ・学校再編に対する不安なことや思い、考え等について

4 スケジュール

4月～5月 作成（内容及び印刷等）

6月 各学校配布、回答依頼

7月 回収

8月～9月 集計及び分析

10月 結果公表

5 予算要求額

消耗品費 13千円

コピー用紙@380円×2冊×1.08=820円

モノクロコピー代@4.5円×2,500枚=11,250円

計 12,070円

合計 13千円